

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）の運営について

対象受検機関：府民文化部男女共同参画・府民協働課

事務事業の概要	検出事項	改善を求める事項																
1大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）の設置目的、施設概要 (1) 設置目的 女性の自立並びにあらゆる分野への参加及び参画を促進し、もって男女共同参画社会の実現に資し、並びに青少年活動を促進し、青少年の健全な育成に資することを施設設置の目的としている。 (2) 施設概要 ・名 称：大阪府立男女共同参画・青少年センター（通称：ドーンセンター） ・所在地：大阪府中央区大手前一丁目 ・開設日：平成6年11月11日 ・敷地面積3,170㎡・建築面積1,971.18㎡・延床面積14,173.24㎡（地下1階、地上10階） ・平成18年度から指定管理者制度を導入（現指定期間：令和8年4月1日から令和13年3月31日まで） 2ドーンセンターの認知度 (1) 認知度の推移 ・男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本計画である「おおさか男女共同参画プラン（R3～R7）」において、認知度40％を目標に掲げているが、目標達成には至っていない。 令和8年3月策定の同プラン（R8～R12）では、認知度の目標値を45％としている。 ・直近3回の認知度の推移は以下のとおり。（男女共同参画にかかる府民意識調査結果（5年ごとに実施）） <table><tr><td></td><td>女性(%)</td><td>男性(%)</td><td>全体(%)</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>35.5</td><td>32.2</td><td>33.9</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>37.0</td><td>31.3</td><td>34.2</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>40.5</td><td>32.6</td><td>36.6</td></tr></table> (2) 認知度向上に向けた主な取組 ・啓発講座（令和7年度6回）及び各種会議（令和7年度7会議）でのドーンセンターの役割や機能の紹介 ・各種啓発に合わせた館のライトアップ実施（令和7年度12回） ・イベント実施時の近隣学校への周知・広報 3ドーンセンターの利用状況 (1) 来館者数と利用率の目標 ・来館者数目標は定めていないが、施設全体の利用率目標は、平成25年度定期監査において、利用率目標の設定を行うようとの監査結果を受け、平成23年度56.3％の利用率を平成27年度までに62％以上を目指すとし、その後、収支が均衡していた平成28、29年度の稼働率を参考に56％に見直し設定したとしているが、目標達成には至っていない。 ・令和8年度はホール65％、パフォーマンススペース41.4％、会議室38.3％、と施設ごとに目標値を設定しているが、施設全体の利用率目標56％を達成するものとなっていない。 ・なお、府では減損会計を導入し、ドーンセンターの減損の兆候を判断する指標として「会議室等の年間利用コマ／（年間提供可能コマ数×稼働率56％）」を設定しており、利用率56％を当該施設の行政サービス提供能力を測る基準値としている。		女性(%)	男性(%)	全体(%)	平成26年度	35.5	32.2	33.9	令和元年度	37.0	31.3	34.2	令和6年度	40.5	32.6	36.6	大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）については、認知度及び利用率の向上に向けた各種取組を実施しているものの、令和6年度の認知度は36.6％にとどまり、「おおさか男女共同参画プラン」に掲げる目標40％に達していない。 また、利用率については、平成25年度定期監査において改善を求め、これを受け平成27年度までに62％以上を目指すとした。その後、令和2年度に56％に見直されたものの、コロナ禍により大きく落ち込んだ後、十分な回復には至らず、令和7年度においても38.7％にとどまるなど、依然として低い水準で推移している。	ドーンセンターについては、府の男女共同参画及び青少年健全育成施策の拠点施設としての役割を十分に発揮できるよう、類似施設の取組などを調査し、関係課と連携の上、認知度及び利用率の向上に引き続き取り組まれない。 特に、利用率については、コロナ禍による行動変容なども踏まえ、到達すべき水準及びその達成時期を改めて整理するとともに、利用率向上に資する取組ごとのKPI（例：新規利用者数、新規利用率、若年層の利用者数、ホームページ閲覧数、オンライン予約率等）を設定し、効果検証及び要因分析を行いながら、計画的な進捗管理と改善に取り組むことを検討されたい。
	女性(%)	男性(%)	全体(%)															
平成26年度	35.5	32.2	33.9															
令和元年度	37.0	31.3	34.2															
令和6年度	40.5	32.6	36.6															

・来館者数と利用率の推移

年度	利用率(%)			来館者数 (人)
	会議室等	ホール等	施設全体	
平成 26 年度	55.0	59.0	55.3	307,618
平成 27 年度	56.7	61.7	57.2	320,643
平成 28 年度	55.5	58.6	55.7	342,712
平成 29 年度	55.0	58.1	55.2	346,788
平成 30 年度	54.7	63.0	55.4	350,518
令和元年度	50.1	56.3	50.7	330,368
令和 2 年度	28.5	33.0	25.1	112,976
令和 3 年度	29.1	41.2	30.1	131,158
令和 4 年度	35.6	50.2	36.9	211,162
令和 5 年度	36.3	49.8	37.5	227,253
令和 6 年度	37.3	49.8	38.4	235,663
令和 7 年度	37.4	52.2	38.7	241,768

(2) 貸館の室ごとの利用率（令和 7 年度）

室名（数）	収容人数	利用率(%)
小会議室（6）	10人	40.7
中会議室（4）	36人	42.0
大会議室（3）	72人	40.7
特別会議室（1）	108人	49.2
和室（2）	40人	27.5

室名（数）	収容人数	利用率(%)
セミナー室（2）	54人	25.5
調理室（1）	15人	17.3
視聴覚室（1）	85人	41.7
パフォーマンススペース（1）	150人	39.8
ホール（1）	500人	64.7

(3) 利用者満足度調査の概要（令和 6 年 12 月・令和 7 年 1 月，回答数 220 件）

- ・「満足」、「少し満足」が90％、利用頻度は「年に数回」が44％、「はじめて」が11％となっている。
- ・利用のきっかけは「定期的な利用」と「過去に利用したことがある」が77％であり、リピーターの利用が多い。

(4) 利用率向上のための主な取組

- ・庁内WEBでの貸会議室利用の周知、各種会議でのドーンセンターの紹介と会議室の紹介
- ・稼働率や利用日時に基づく潜在的利用者分析と分析結果の指定管理者との共有
- ・貸会議室予約のデジタル化
- ・複数事業者へのヒアリング（コロナ禍後の他施設の状況、来館者数、貸会議室の課題、施設の維持補修方法等）の実施
- ・ロビーや情報ライブラリーでの展示や入口カウンター・2階総合受付での季節ごとの飾りつけ
- ・オンライン会議やオンラインイベントに向けた通信環境の整備や更新
- ・予約改善の取組（貸会議室検索サイトへの掲載、来館者へ施設利用予約がWebからもできることを周知）
- ・過去に利用があり、現在はない利用者へのダイレクトメッセージの送付
- ・インターネット、X、フェイスブック（SNS含む）やチラシなどの媒体を活用した広報

4 ドーンセンター内で実施した主な事業（令和 7 年度）

- (1) 府実施事業：・大阪府男女共同参画推進のための相談事業等
- ・ドーンdeキラリフェスティバル2025
 - ・「非行少年防止月間」と協力展示
 - ・大阪の子どもを守るネット対策事業

- ・女性のためのコミュニティスペース（愛称：&an）
- ・ドーンdeキラリフェスティバル2025 with万博
- ・「中学生の主張 大阪府大会」と提携展示
- ・青少年育成大阪府民会議常任委員会

(2) 指定管理者実施事業： ・情報ライブラリー事業自主事業（10代の中高生を対象に会議室を無料開放する「夏期自習室」及び「冬季自習室」） ・男女共同参画に係る自主事業（女性の体と性についての悩みや不安について若年層に向けた講座「MEET UP FESTIVAL」） ・青少年健全育成に係る自主事業（府民向け啓発講座やパネル展）		
---	--	--

監査（検査）実施年月日（委員：令和8年8月5日、事務局：令和8年6月1日から同年8月27日まで）